

## 今号の表紙。

今号の表紙は新体制となった矢板市議会の「総務厚生常任委員会」と「経済建設文教常任委員会」委員です。矢板市議会では慣例により2年ごとに構成が変更してきました。

5月20日の臨時会では正副議長選において、指名推選により選出されました。併せて各委員の選出も行われました。

指名推選について議長選は2007年以来、副議長選も2013年以来となりました。



矢板市議会へのご意見・ご提言はこちらまでお寄せください。いただいでから1か月を目安に矢板市議会HPでご回答いたします。

・FAX  
0287-44-1100  
・Email  
gikaijimukyoku@city.yaita.tochigi.jp  
・封書など  
〒329-2192  
矢板市本町5-4  
矢板市議会事務局宛

第214号  
矢板市議会だより  
2021年8月1日

# 矢板市議会だより

第214号  
令和3年8月1日

第367回 5月臨時会

議会役員を選出

第368回 6月定例会

令和3年度補正予算などを可決

# 新体制 スタート!

総務厚生常任委員会



経済建設文教常任委員会



※撮影のためマスクを外しています。

## 次回9月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
8/29	30	31	9/1	2	3	4
				本会議 (閉会)	本会議 (一般質問)	
5	6	7	8	9	10	11
	本会議 (一般質問)		常任委員会		決算審査	
12	13	14	15	16	17	18
	決算審査					
19	20	21	22	23	24	25
			本会議 (閉会)			
26	27	28	29	30		

8/19(木)、10/22(金)全員協議会  
いずれの日も10:00開会(変更の場合があります。)

### 議会の動画を見る。

本会議の様をインターネットで録画しています。市議会ホームページから見るることができます。

### 議会に参加する。

議会に対して、陳情等を提出することができます。また、ご意見・ご提言なども随時お寄せください。

### 議会の傍聴について

新型コロナウイルス感染症により、皆様の生活に様々な影響が及んでいます。議会運営についても、安心・安全の観点から市民の皆様には、傍聴をご遠慮いただく形とさせていただいております。ワクチン接種が始まりましたが、今後も状況に応じて同様の措置を取らせていただくこともありますので、傍聴をご検討の際は事前に事務局までお問い合わせください。

## + 編集後記 +

特集としても取り扱いましたが5月に新体制になり、広報広聴委員会の委員長に選任いただきました。誠心誠意努力をいたす所存でございます。

さて、コロナ禍によりこの1年議会活動も大きく制限されました。この矢板市議会だよりは今まで以上に市民の皆様へ議会活動を伝える場となります。

議会広報広聴委員会といたしましても、多くの市民の皆様へ、より一層興味を持っていただける内容の市議会だよりをお届けしたいと思っています。

これからも議会だよりをよろしく願いいたします。

(委員長 櫻井恵二)

※次号(第215号)は11月1日発行予定です。



### 議会広報広聴委員会

◎櫻井恵二 ○中里理香 ○高瀬由子  
石塚政行 掛下法示 神谷 靖  
藤田欽哉 小林勇治 今井勝巳

※◎は委員長、○は副委員長

暑中お見舞い申し上げます。

議員個人の暑中見舞い、初盆などの寄附行為となるものは、どのような名目であっても公職選挙法により禁止されていますので、自粛しております。ご了承ください。

編集/議会広報広聴委員会  
発行/矢板市議会  
印刷/株式会社グエスタ

〒329-2192 矢板市本町5番4号  
Tel: 0287-43-6216 Fax: 0287-44-1100  
Mail: gikaijimukyoku@city.yaita.tochigi.jp

矢板市議会  
検索

## 目次

特集 議会の新構成	2	矢板市議会の審議結果	9
矢板市議会ニュース	6	委員会審査レポート	10
矢板市地域おこし協力隊×市議会	7	市政発展のために! 「一般質問」報告	12
「議会報告会・意見交換会」を開催します!	8	高校生のみなさんからの手紙。	15

# 議会の新構成

5月から矢板市議会が新体制に移行しました。

新たに就任した議長、副議長及び常任委員会委員長よりごあいさつを申し上げますとともに、各委員会等の構成についてご報告いたします。



副議長：藤田 欽哉 議長：今井 勝巳

## 就任のごあいさつ

### 議長 今井 勝巳

矢板市議会第38代議長に選任を戴き改めて責任の重さを実感致しております。

平成3年に初当選以来多くの課題に直面して参りました。地方分権一括法による行政の構造の変化や小選挙区制度の導入、平成の大合併においては協議が不成立となり矢板市は単独で自治運営することで今日を迎えています。その為、議会としても行財政改革の一端として議員定数削減や政務活動費等カット、さらには議会基本条例を制定し二元代表制の一翼を担う組織としての機能強化に努めてまいりました。

今日の日本は少子高齢化の急速な進展により住民生活の全てを見直さなければ先が成り立たない状況にあります。また、公共施設の老朽化や社会福祉、子育て環境など早急に解決していかねばならない課題も山積しております。そんな中、昨年以来の新型コロナウイルス感染拡大は深刻な社会問題であり、一日も早い収束を目指し予防に努めると共に、地域経済の早期回復策を考えて行かなければなりません。

我が故郷は市民の力で守り抜きながら、アフターコロナに向け積極的な行動によるまちづくりが出来る環境を整えて参ります。その為に、市民の皆さんの声を大切に、議会運営を行って参りますので、皆様の今後のご協力のご指導ご理解をお願い申し上げます。

### 副議長 藤田 欽哉

向日葵が真夏の日差しの中で鮮やかに咲く季節を迎えましたが、市民の皆様におかれましては、お健やかに過ごしの事と存じます。また日頃より市議会に対しまして格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度私は5月20日の臨時議会におきまして、第37代副議長に指名推選によって選出をされました。若輩にして浅学非才の私ではございますが、第一に和を大切に、与えられた職務を全うすべく、誠心誠意努力する覚悟でございますので、皆様方のご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

コロナ禍という厳しい時代ではありますが、二元代表制の一翼を担う議会と致しましては、市民の皆様へ寄り添う議会を目指し、市当局に対しては、「ものの言える議会」、「政策提言の出来る議会」を目指して、市民福祉の向上、市政発展に努めて参る所存でございます。何卒変わらぬご理解とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

### 総務厚生常任委員会

#### 委員長 高瀬 由子

コロナ禍において、行政区や各種団体、職員の皆様のご貢献により、矢板の良さを再発見される方、テレワークにより矢板の地を選び移住される方が増加傾向にあります。

そんな中、総務厚生常任委員会委員長に就任し身に余る思いであります。正副議長、議会運営委員長を核とし、委員会一丸となって、財政安定、福祉向上、防災推進等について議論し、市民の皆様へ「住んで良かった」と実感していただけるよう取り組んで参ります。宜しくお願い申し上げます。

### 経済建設文教常任委員会

#### 委員長 中里 理香

経済建設文教常任委員会委員長に選任をいただき大変光栄に思いますとともに、身の引き締まる思いがいたしております。

市民の皆様からの負託に応えるためにも、議員皆様方の御指導、御協力をいただきまして、円滑な委員会運営に努めてまいりたいと考えております。市内経済や子どもの教育の発展に寄与するようしっかりとチェックしていきたいと考えております。全員で一致団結して取り組んで行く所存です。どうぞ宜しくお願いします。

## 矢板市議会各委員会の構成

### 総務厚生常任委員会

税務、防災、生活環境、福祉および子育て事業などのチェック

- ◎高瀬 由子 ○掛下 法示
- 藤田 欽哉 佐貫 薫
- 小林 勇治 宮本 妙子
- 石井 侑男 中村 久信

### 経済建設文教常任委員会

建設、教育、農林商工業、水道事業などのチェック

- ◎中里 理香 ○石塚 政行
- 神谷 靖 櫻井 恵二
- 伊藤 幹夫 関由 紀夫
- 今井 勝巳

### 議会運営委員会

議事の取扱い等、議会運営について決める

- ◎佐貫 薫 ○神谷 靖
- 中里 理香 高瀬 由子
- 宮本 妙子 中村 久信

### 議会改革推進特別委員会

議会改革をさらに進める施策を立案、実行する

- ◎佐貫 薫 ○神谷 靖
- 中里 理香 高瀬 由子
- 藤田 欽哉 宮本 妙子
- 中村 久信 今井 勝巳

### 議会広報広聴委員会

議会だより編集など、議会の情報公開・交換のための施策を行う

- ◎櫻井 恵二 ○高瀬 由子
- ◎中里 理香 ○掛下 法示
- 石塚 政行 藤田 欽哉
- 神谷 靖 中村 久信
- 小林 勇治 今井 勝巳

### 議会報告会運営委員会

議会報告会をどのように運営するかを決める

- ◎宮本 妙子 ○伊藤 幹夫
- ほか全議員

### 塩谷広域行政組合議会議員

消防などの塩谷広域圏内の事業を所管

- 藤田 欽哉 宮本 妙子
- 石井 侑男 中村 久信
- 今井 勝巳

### 各種委員

- ・国民健康保険運営協議会委員 … 櫻井恵二 小林勇治
- ・社会教育委員 … 伊藤幹夫
- ・都市計画審議会委員 … 神谷靖 中里理香 関由紀夫
- ・環境審議会委員 … 高瀬由子

【詳細QR】



# 議長の一日

## 6月17日の例（閉会日）

5月に新体制になり、議長に就任した今井勝巳議員に密着取材し、お仕事内容をご紹介します。



### 7:00 情報収集

議長の朝は登庁前の情報収集から始まります。最新のニュース・新聞の地域の情報は議会で質疑を取りまとめる議長には欠かせません。



### 8:30 登庁

今日も全員協議会や本会議の他、たくさんの委員会に向け、気を引き締めての登庁です。



### 9:00 議会運営委員会

議会運営委員会は市執行部から提出された議案などの取扱や議会運営に関する様々なことを調整します。議長はここで協議されたことを踏まえ、このあとの議事進行に備えます。



### 10:00 全員協議会・本会議

いよいよ議長による議事の進行がはじまります。様々な質疑などがされる中、議員、執行部の発言内容に集中しながら、会議を進行します。



### 11:30 議員会・議員報告会運営委員会 各種団体の会議など

議会として取り組む内容を協議する議員会や、市民と議会との情報交換の場となる議会報告会の委員会に出席。このあとも委員となっている各種団体の会議など目白押しのスケジュールです。



### 16:00 退庁

回議文書を確認し、忙しい1日も無事終了です。お疲れさまでした。

矢板市を元気にするために、議会がすべきことは何か？

これまで、矢板市議会はさまざまな改革を行なって参りましたが、まだまだ道半ばですし、終わりはありません。

「これまで」と「これから」の取り組みから、新たな道を報告させていただきます。

### 議会改革って何のため？

矢板市議会は矢板市を元気で楽しい街にするためにあります。そのために、議会の仕事の大きな柱である「行政のチェック」と「政策提言」も時代の変化を踏まえ、未来を見据えたものにしなければなりません。

さらに最近では、感染症対策や自然災害対策など、これまで以上に迅速に、臨機応変に対応しなくてはならない事例が増えており、議員全員の力を合わせて、議会改革をこれまで以上に進める必要があります。

### どんな改革に取り組んでいるの？

「これまで」と「これから」の取り組みをいくつかご報告させていただきます。

#### 1. 議会を知っていただく

議会だより、Facebook、Twitter、ホームページやインターネット録画配信などで議会情報を公開し、本会議・常任委員会の議事録、議員個々の議案の表決結果、政務活動費の公表も県内で先駆けて行っています。

#### 2. 議会に興味を持っていただく

2015年に始めた「議会報告会・意見交換会」、「高校生との意見交換会」など、皆さまと一緒にまちづくりを考えて参りました。また、頂いたご意見・ご提言を政策にまとめ、実現できた施策もあります。

#### 3. 議会をパワーアップする

さらに充実した議会活動ができる「通年議会」を今年度の改革のメインテーマに据え、議論を深めるとともに、次年度からの実施を目指し、議員全員で事例研究を進めています。

### 「通年議会」って何？

現在は、年4回の定例会（3月、6月、9月、12月）において議案審議などを行っていますが、原則的にはこの会期中以外は議会活動ができず、現在の制度では緊急の事案に対応しにくい状況にあります。

「通年議会」は1年間を通して議会活動を可能にできる制度で、緊急に会議を開く必要がある場合、議長の権限でいつでも会議ができるようになるのです。また、このようなメリットもあります。

- ①感染症対策や災害発生時など、緊急対応の補正予算や議案などがある場合、即時に会議を開き、審議することができる。
- ②いつでも会議を開くことができるため、議案審査や調査をより慎重に専門的に行えるようになる。
- ③市政に対する監視機能や政策立案機能が強化できる。
- ④市長や議員が必要に応じて、議案をタイムリーに提出できる。

「通年議会」の導入後には、議決までの期間も短縮できるので、より良い市民サービススピーディーにお届けできる可能性を高められます。

矢板市を元気にするための「通年議会」。その新たな道に、さらにその先に進めるように、議会改革推進特別委員会、そして議員全員で、議会改革を進めて参ります。

[文責：佐貫 薫]

### 議会改革推進特別委員会

◎佐貫 薫 ○神谷 靖 中里理香 高瀬由子  
藤田欽哉 宮本妙子 中村久信 今井勝巳

# 議会改革。新たな道へ。

# 矢板市議会ニュース

## ① 全国市議会議長会にて表彰を受けました。



今井 勝巳 議員



小林 勇治 議員



関 由紀夫 議員



佐貫 薫 議員

5月26日、第97回全国市議会議長会定期総会において、矢板市議会議員が下記のとおり表彰を受けました。

**【議員在職年数 25年特別表彰】**

今井 勝巳 議員

**【議員在職年数 10年表彰】**

小林 勇治 議員

関 由紀夫 議員

佐貫 薫 議員



藤田副議長(右)から表彰状を受け取る今井議長(左)

## ② 今回の議会改革度ランキングは…!?

**全国 180 位**

**栃木県内 7 位**

早稲田大学マニフェスト研究所による全国の地方議会対象の「議会改革度調査 2020」のランキング結果(1,404 議会回答)で、全国 180 位になりました。

これは「情報共有」、「住民参加」、「機能強化」の観点から採点される議会の通信簿のようなもの。

今後も市政発展のため、議会改革を推進してまいります。

《 分野別の順位 》

情報共有…256 位

住民参加…236 位

議会機能強化…199 位

# 矢板ふるさと支援センター TAKIBI

矢板市地域おこし協力隊 × 市議会



みんな、集まる。



テレワークについては6月定例会一般質問でも取り上げられるなど注目を集めています。矢板市ではテレワーク支援の一つとして、「矢板ふるさと支援センターTAKIBI」にシェアオフィス(テレワーク施設)を開設しています。そこで、運営に携わる地域おこし協力隊のお二人に活動内容などについてお伺いしました。

**Q 矢板ふるさと支援センター TAKIBI とは？**

**A.** たき火の周りに人が自然と集まるように、住民が中心となってまちづくりを進めるための支援をしています。

具体的には、シェアオフィスによるテレワークや学生の自習の支援やシェアキッチンによる飲食店営業のチャレンジ支援をはじめ、移住、定住者の支援など多岐にわたります。

**Q 新型コロナウイルスによる活動の影響は？**

**A.** 今在籍している地域おこし協力隊は、コロナ禍の令和2年4月1日からの活動開始なので、イベントができないなど大変な状況から始まりました。

**Q TAKIBI の運営するシェアオフィス(テレワーク施設)とは？**

**A.** 昨年10月にオープンしました。学生の自習やテレワークができるよう、無料でスペースの使用やWi-Fi、プリンター、FAX、会議用モニターの使用ができます。(登録制・事前予約を推奨)

**Q シェアオフィスの反響は？**

**A.** 新聞等で取り上げていただきましたが、それによって急に問合せなどが増加した訳ではありません。しかし、オフィスがいっぱいになるところもあり、常連さんも多いです。周辺にこのような施設が無いこともあり注目いただいています。

コロナ禍によるテレワークの増加で一定の定着があったので、今後もシェアオフィスの需要は高いと感じています。

**Q 矢板市議会・議員の印象は？**

**A.** “お堅い”イメージではなく普通の話しやすいお客さんといった感じです。

**Q 矢板市の良いところは？**

**A.** シェアオフィスに来る方もそうですが、矢板市全体に気兼ねなく話せる雰囲気があります。隠れた良い見どころがあるのですが、コロナの影響もあり、人があまり来てないので、独り占めできるみたいな感じです。



取材に応じていただいた地域おこし協力隊の渡辺さん(左)と手塚(右)さん

皆さまの「声」を市勢発展に活かす！

## 「議会報告会・意見交換会」を開催します！

昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のため実施できませんでしたが、今年は以下のとおり開催いたします。ご参加の際は、感染症対策をよろしくお願いいたします。

### ■日時・会場など

期日	曜日	時間	場所	テーマ
10/6	水	14:00～16:00	矢板公民館大会議室	子育て世代から矢板市へ望むこと
10/12	火	19:00～21:00	矢板公民館大会議室	環境にやさしいまちづくり

### ■申し込み

開催日1週間までに電話またはFAXにて以下の事項によりお申し込みください。

- ・氏名
- ・電話番号(日中、連絡がつく番号でお願いします)
- ・参加を希望される日

※参加申込者が多数の場合は、感染症対策により、人数を調整させていただきます場合がございますので、あらかじめご了承ください。

〈 お申込み先 〉  
 矢板市議会事務局  
 電話：0287-43-6216  
 FAX：0287-44-1100

### ■注意事項

- 新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、中止や開催方法の変更をさせていただく場合がございます。また、天候等(大雨、暴風、大規模地震の発生など)により中止となる場合がございます。これらの場合には、電話にて連絡いたします。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「新しい生活様式」の徹底など、感染予防の実施(マスクの着用、手指の消毒など)にご協力ください。
- 当日、発熱または風邪の症状がある場合は、入場をご遠慮いただきますので、あらかじめご了承ください。

このほか、矢板市議会では初めての試みとして、「団体との意見交換会」を行います。

商工会さんと「アフターコロナを見据えた経済対策」について、議論を交わします。

※団体との意見交換会については、一般参加は受け付けておりませんので、ご注意ください。



## 5月臨時会、6月定例会の審議結果

### 第367回 5月臨時会 -5月20日-

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	市長の専決処分事項承認について 専決第2号 令和2年度矢板市一般会計補正予算(第11号)	承認
議案第2号	市長の専決処分事項承認について 専決第5号 令和3年度矢板市一般会計補正予算(第2号)	
議案第3号	市長の専決処分事項承認について 専決第3号 矢板市市税条例等の一部を改正する条例	
議案第4号	市長の専決処分事項承認について 専決第4号 矢板市都市計画税条例の一部を改正する条例	全会一致で 原案可決
議案第5号	矢板市行政組織機構の変更に伴う関係条例の整備に関する 条例の制定について	
議案第6号	監査委員の選任同意について	同意
議案第7号	工事請負契約の締結について	全会一致で 原案可決

### 第368回 6月定例会 -6月4日～6月17日-

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	令和3年度矢板市一般会計補正予算(第3号)	全会一致で 原案可決
議案第2号	矢板市自家用有償バス設置条例の一部改正について	
議案第3号	矢板市市税条例の一部改正について	
議案第4号	矢板市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の 一部改正について	
追加議案 第1号	令和3年度矢板市一般会計補正予算(第4号)	

【詳細QR】



議案をこのように審査しました。

# 委員会 審査 レポート

## 総務厚生常任委員会

◎高瀬由子 ○掛下法示 藤田欽哉 佐貫 薫  
小林勇治 宮本妙子 石井侑男 中村久信



議案第1号

### 令和3年度矢板市一般会計補正予算(第3号)

**概要** 歳入歳出にそれぞれ3650万円を追加計上し、予算総額を133億6080万円に補正するもの。

議案第2号

### 矢板市自家用有償バス設置条例の一部改正について

**概要** 令和3年10月1日からの公共交通再編に係る自家用有償バスの路線、料金等の変更に伴い、所要の整備を行うため条例の一部を改正するもの。

議案第3号

### 矢板市市税条例の一部改正について

**概要** 地方税法等の一部を改正する法律等が公布されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

議案第4号

### 矢板市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

**概要** 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が公布されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部改正をするもの。

# 請願・陳情の審議結果

経済建設文教常任委員会に付託された下記案件について、現地を確認の上、慎重に審査をいたしました。



## 経済建設文教常任委員会

◎中里理香 ○石塚政行 神谷 靖 櫻井恵二  
伊藤幹夫 関由紀夫 今井勝巳

陳情番号	件 名	議決結果
第11号	矢板市上伊佐野地区の市道の舗装に関する陳情	不採択

【詳細QR】



# 請願・陳情はこんな方法で

請願・陳情は、市民の皆さまの要望を市政に反映させるための制度です。  
請願書・陳情書を提出する方は、この要領でご持参ください。

## ■ 様式

・用紙サイズはA4版。下の様式に準じて日本語で作成してください。

## ■ 内容

・簡潔な趣旨、理由、提出日、請願者（陳情者）の住所を記載し、署名の上、ご提出ください。  
・1つの請願・陳情につき、1つの趣旨にしてください。  
※署名が難しい場合は、記名（パソコン等による印字または代筆）の上、押印してご提出ください。  
※請願書には、必ず1人以上の紹介議員（矢板市議会議員）の署名、または記名押印が必要です。  
陳情書には紹介議員は必要ありません。  
※道路や水路等の場合は、地図の写しや略図を添付してください。

## ■ 受付期日

・定例会（3月、6月、9月、12月）開会日の10日ぐらい前までにご提出ください。  
市役所が閉庁のときを除き、いつでも受け付けています。  
・必ず議会事務局職員にお渡しください。

お問い合わせ先：議会事務局 TEL：43-6216

## 請願書様式

(表 紙)

〇〇〇〇〇に関する請願書  
紹介議員 氏 名

(内 容)

件 名 〇〇〇〇〇に関する請願  
要 旨 .....  
理 由 .....

地方自治法第124条の規定により、  
上記の請願書を提出します。

年 月 日

請願者(代表)

住 所  
氏 名 〇〇〇〇  
(連名のときは末尾に署名簿を添え、ここには代表者を記載し、ほか何名とする。)  
矢板市議会議長 様

## 陳情書様式

(表 紙)

〇〇〇〇〇に関する陳情書

(内 容)

件 名 〇〇〇〇〇に関する陳情  
要 旨 .....  
理 由 .....

年 月 日

陳情者(代表)

住 所  
氏 名 〇〇〇〇  
(連名のときは末尾に署名簿を添え、ここには代表者を記載し、ほか何名とする。)

矢板市議会議長 様

# 市勢発展のために！ 「一般質問」報告

# 市政を 問う。

6/7

ただ  
市政の課題や将来の展望について質す一般質問。  
6月定例会では、5人の議員が質問をしました。  
「矢板を良くしたい！」  
各議員の熱い思い、ご一読ください。



掛下 法示 議員



### 【今回の質問】

1. 新型コロナウイルスワクチン接種体制について
2. コロナ禍における諸問題について
3. 日本語学校の誘致による人口増への取組について
4. 子どもの近視の予防への取組について

## ワクチン接種申込み方法について。 日本語学校誘致で人口増を期待する。

### 質問

ワクチン接種について、予約の際に電話がつながりにくい問題がある。電話予約方式を止めて、年齢順や基礎疾患を考慮し、行政が接種順番を決める方式を提案するが、市の見解を問う。

### 答弁

本市では高齢者の約4割の接種見通しが立った。今後は市の集団接種に加え、栃木県での接種、かかりつけ医での接種、高齢者施設等での巡回接種ができる機会が増える予定である。次回からの予約方法の変更は混乱を招くため、引き続き現行の予約方式を進めていく。

### 質問

視察で訪問した北海道の東川町では、日本初の公立日本語学校の設立により留学生等が増加し、500人の人口増につながった。町は若い留学生であふれ活気がある。本市は、交通の利便性は良く、立地条件も良いため、積極的な誘致を期待するが市の見解を問う。

### 答弁

コロナ禍の影響で現在は留学生が減少している。本市への日本語学校の誘致は、今後の小中学校の統廃合に伴う施設の利活用も考えられるが、検討にあたっては、地域の意向を踏まえ、総合的に調整する。また、学校運営において問題となる事例も見受けられるため、慎重に調査研究を行う。



伊藤 幹夫 議員



### 【今回の質問】

1. 矢板市における脱炭素社会への取組について
2. 矢板市におけるテレワーク普及の現状と推進について

## テレワーク普及の現状と推進について。

### 質問

日本は現在年間12億トン超の温室効果ガスを排出しており、政府は4月、国内の温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比で46%の削減を目指すと表明。2050年度までに実質ゼロにする「カーボンニュートラル」を宣言したが、矢板市における取組の現状と推進について問う。併せて、環境負荷を緩和するサステナブルファッションの推進を提案する。

### 答弁

本年度見直す予定の市環境基本計画の中で、カーボンニュートラルの具体的な取組を検討していく。ゼロカーボンシティ宣言も、計画の見直しと同時期に表明できるように進めるとともに、サステナブルファッションについても周知を図る。

### 質問

コロナ禍の中、新しい生活、仕事が目される中、テレワークの普及が全国的に進んでおり企業誘致や人口増にもつながるが、矢板市におけるテレワーク普及の現状と推進について問う。

### 答弁

昨年度「矢板ふるさと支援センターTAKIBI」におけるテレワーク利用者が延べ221名あり、今後、国による地方創生テレワーク交付金を受け施設整備に取り組む民間事業者を選定するなどし、テレワークを通じた「やいた創生」に取り組んでいく。



神谷 靖 議員



### 【今回の質問】

1. 食物アレルギーへの対応について
2. がんを患っている方への支援について
3. 獣害対策について
4. 生活に課題のある人への支援について

## がんを患っている方への支援を求める。 生活に課題のある人へ支援を！

### 質問

乳がんや子宮頸がん等のがん治療患者への医療用ウィッグ等の購入支援を求める。

### 答弁

がん治療をしている方は、抗がん剤による脱毛や乳房切除など外見の変化により社会生活に不安を感じる方も多い。医療用ウィッグや乳房補正具は外見変化をカバーし、療養生活の向上に必要なものである。

本年度から栃木県で、これら医療補正具の費用助成を実施する市町への補助金交付事業が創設され、支援制度導入の検討依頼があったため、矢板市では令和4年度より補助制度を創設することとした。

### 質問

生活に課題のあるヤングケアラーと、生活困窮した女性への支援について問う。

### 答弁

ヤングケアラーは表面化しにくい。把握した場合は、家庭相談員やスクールソーシャルワーカーが対応していく。また発見・把握のため、学校や地域、関係機関等が情報を共有するとともに、周囲の大人への啓発にも努める。生活困窮した女性支援は、子ども課に婦人相談員を配置し、多様な相談に応じている。また社会福祉協議会に委託し、生活困窮者自立相談支援事業により、伴走型支援を行っている。また相談窓口で生理用品等を配布できるよう準備している。

【詳細QR】





高瀬 由子 議員



【今回の質問】

1. ともなひライブラリーの有効活用  
— 未来を担う子どもたちのために—
2. デリバリー（配送・出張販売）クーポン券発行  
— 「住んで良かったaiのあるまち矢板」へ—
3. SNSやオンライン配信の活用による移住定住促進  
— 「選ばれる矢板」へ—

## デリバリークーポン発行で経済活性化。SNSやオンライン発信で移住定住促進を！

### 質問

配送支援や「配送クーポン」「出張販売クーポン」発行により、食事に限らず物品も電話やメールで簡単に注文可能にし、飲食業や小売店を助けるような取り組みをはいかがでしょうか。

### 答弁

テイクアウトクーポン券や店内飲食可能なクーポン券など、市内経済の活性化、感染症拡大防止両立に努め、大変好評をいただいている。デリバリークーポン券は飲食業に限らず小売業まで幅広い事業者の支援に繋がり市民に対しても有効な事業である。サービスに対応できる事業者の把握、統一したシステムづくりが必要である。関係機関と連携しながらアフターコロナを見据え、タイミングを見極めながら、市内経済の活性化が図れるように検討する。

### 質問

3年前要望した各課施策一覧チラシ「とかいなか矢板」が作成済である。移住定住促進を図るため、各課の施策をPRし、SNSやオンライン配信での移住説明会や体験会を開催することを提案する。

### 答弁

コロナ禍において地方移住への関心を持つ方を矢板市への移住につなげていくため、相談窓口やオンラインなどでのきめ細かな対応が重要である。「ふるさと支援センターTAKIBI」では、集落支援員を中心に移住相談に当たっている。県主催の移住相談会や市主催の移住交流会をオンラインで行ったほか、対面だが、相談者のニーズに合わせたオーダーメイドツアーを実施した。オンライン相談会などの内容の充実にも努め移住定住の促進を図る。オンライン移住体験ツアーも先行事例を参考に調査研究する。



小林 勇治 議員



【今回の質問】

1. 新型コロナウイルスワクチンについて

## 新型コロナワクチン接種に対する本人の同意について問う。新型コロナ恐怖の払拭について問う。

### 質問

ワクチン接種は強制ではなく本人の同意が不可欠という重要性に鑑み、個人の人権を重んじ社会的な同調圧力等、事実上の強制接種にならないよう本市の取り組みを問う。

### 答弁

ワクチン接種は、最終的には個人の判断で接種されるものである。市より高齢者の皆様にお送りした「ワクチン接種のご案内」においても、ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要であり、強制されるものでない旨明記している。この事についても、「広報やいた」や市ホームページで周知している。

### 質問

メディア報道により、市民にコロナ恐怖が植え付けられている。コロナ恐怖を払拭するには抗体検査を行い正確な情報が市民に伝わるのが大切と考える。本市の取り組みを問う。

### 答弁

正確な情報を得る手段として抗体検査の提案があったが、国は昨年、全国5都道府県で約15,000人を対象に抗体検査を実施した。その結果は依然として免疫防御機能のある抗体を保有していない事を確認された。本市の感染者は累計で24人、人口10万人当たりでは県内25市町中最も少ない水準で推移しており、引き続き防止に取り組んでいく。

## 高校生のみなさんからの手紙。



高校生の矢板市に対するご意見・ご提言を紹介するコーナーです。今月は、矢板東高校のみなさんからたくさんのお手紙をいただきました。矢板市の魅力をもとに、期待する思いをしたためていただきました。



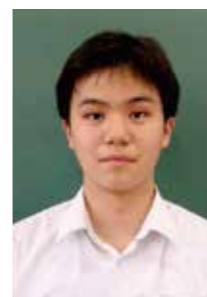
矢板東高校3年 勝沼 美咲さん

私は大田原市から矢板市に通学して六年目になりますが、矢板の魅力といえばやはり、春になると咲き誇る長峰公園内のツツジだと思います。しかし、これは地元の人、矢板に通う学生にしか伝わっていない魅力だと思います。そこで、街路樹などで統一感を出し、駅から長峰公園までの道に名前を付けるなどし、SNSで拡散しやすくなる工夫をするべきだと思います。また、季節ごとにイベントを開くなど、全国規模で矢板市の魅力を発信すべきだと思います。そうすることで、矢板市の活気あふれる町づくりにつながることを期待しています。



矢板東高校3年 熊田 ひなりさん

私は生まれてからずっと矢板に住んでいます。ですが、最近趣味で矢板の様々な場所を訪れるうちに、まだまだ知られていないことがたくさんあると知りました。その中でも特に印象的だったのは長峰公園です。小学生以来しばらく行っていなかったのですが、改めて訪れたところその賑わいにとっても驚かされました。小さい子供たちが遊んでいたり、高齢者がウォーキングをしていたりと、いつ来ても沢山の人がいます。近頃は過疎化が問題になっていますが、このような光景が見られるあたり矢板はまだ大丈夫だと思えました。そして、矢板市のあちこちに行く中で感じたことが一つあります。それは街灯が少ないということです。憩いの場があっても、少し遅い時間になると真っ暗になってしまうため一人で気軽に散歩できません。矢板市にはぜひ街灯を増やしていただきたいです。そうすればより一層矢板に活気がでるはずですよ。



矢板東高校3年 平野 篤範さん

私は矢板市の豊富な自然と活用したイベントを増やすことで市の発展に繋がるのではないかと考えました。感染症拡大に伴い、昨今ではアウトドアや野外イベントが注目されつつあります。例えば、矢板市には高原山だけでなく小さな山も沢山あるのでオリエンテーリング開催やキャンプ場の設置、植林イベントなど家族揃って豊かな学びに繋がる行事も良いと思います。他にも「おしらじの滝」など矢板市には美しい滝や綺麗な川があるので、滝までの道を整備し、人の行き来がしやすくなれば、川下りや在来魚の放流イベントなどが行えると思いました。地域に根差した豊富なイベントは市の発展だけでなく、市民や訪れた人の心も豊かにすると思うので、矢板市の発展の為に少しでも助けになれば幸いです。

他にも4名の生徒様からお手紙をいただいております。お手紙は矢板市議会のホームページでご覧いただけます。



矢板市議会 ホームページ